

会計名		就業支援事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	商工業係	
5	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	雇用・就労の安定確保						
	目的	若年者、女性、再就職希望者等の就業支援及び企業の人材確保支援を実施し、就業機会の増大を図る。 ※(対象者の条件) 就職希望者、再就職希望者、労働者、事業者		主たる内容	県や関係機関と連携して、新規学卒者、学卒者の保護者、再就職希望者等に対し、セミナーや講座等を開催する。 また、労働者、事業者に対し、就業環境の整備を啓発するセミナーや講座を開催する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	目的欄※参照		事業期間	平成19年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		セミナー・講座回数 10回 就職相談窓口開設回数 18回		セミナー・講座回数 4回 就職相談窓口開設回数 13回		セミナー・講座回数 8回 就職相談窓口開設回数 10回		セミナー・講座回数 10回 就職相談窓口開設回数 12回	
成果 (できたこと)		参加者からは、役に立った、悩みが解消した、有意義であった等の多くの声が寄せられ、成果を数値では表せないが、就業支援に繋がった。							
課題 (できなかったこと)		目まぐるしく変化する雇用情勢に対応した事業実施が求められるため、その時々に見合った内容、開催時期であったかの検証や、事業実施後のアフターフォローを行う必要があると考える。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		セミナー、講座の回数(回)		10	4	8	10	10	
活動指標		就職相談窓口利用率(%)		33.3	39.3	66.7	80.0	—	
他市との比較検証		愛知県内の他市で、事業化して開催しているのは本市のみである。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		315	90	238	448	合計	237,750 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	109,000 円	
		一般財源	315	90	238	448	委託料	99,750 円	
	職員人件費②		1,812	754	1,450	1,474	使用料及び賃借料	29,000 円	
	総事業費(①+②)		2,127	844	1,688	1,922			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			緊急雇用対策事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	商工業係	
5	1	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	雇用・就労の安定確保						
	目的	雇用情勢の先行きが不透明で、有効求人倍率が低迷する中、増加する離職者に対し、臨時的・一時的な就業機会を提供し、安定した求職活動ができる環境を創出する。 ※（対象者の条件） 平成20年10月以降に解雇された方、または東日本大震災で被災された方				主たる内容		市役所内各課に事業を募集し、求職者を臨時職員として臨時的・一時的に雇用する。	
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	目的欄※参照			事業期間	平成20年度 ~		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		4課室4事業創出 8人雇用		1課1事業創出 1人雇用		2課2事業創出 4人雇用		2課2事業創出 2人雇用予定	
成果 (できたこと)		国・県や他市に先駆け、刈谷市単独予算で離職者支援を行った。 また雇用された方に、一時的ではあるが安心して求職活動できる環境を創出することができた。 その結果、就職先が見つかったり、専門学校への入学等に繋がった。							
課題 (できなかったこと)		賃金や職種等が限定されるため、応募者が少ない。また 諸団体との関係や雇用中の管理等の問題から求人事業の創出について困難な面がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動 指標		雇用人数（人）			8	1	4	2	—
指標									
他市との 比較検証		愛知県内の他市で、事業化しているのは本市のみである。							
C 事業 コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		1,753	448	1,036	1,348	合計	1,035,975 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	賃金	1,035,975 円	
		一般財源	1,753	448	1,036	1,348			
	職員人件費 ②		1,450	366	714	737			
	総事業費 (①+②)		3,203	814	1,750	2,085			
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名							担当部	経済環境部		
一般会計			雇用安定対策事業				担当課	商工課		
款	項	目					担当係	商工業係		
5	1	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	商工業							
		施策の内容	雇用・就労の安定確保							
	目的	雇用情勢の先行きが不透明で、有効求人倍率が低迷する中、中小企業労働者の失業の予防と雇用の安定と維持を図る。 ※(対象者の条件) 国の中小企業緊急雇用安定助成金の支給決定を受けた市内中小企業事業主			主たる内容	景気の変動、その他経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた市内中小企業が雇用する労働者に対して、一時的に休業措置または教育訓練を実施した場合に係る費用の一部を補助する。 ○対象経費 休業手当に要した3ヶ月分までの費用 ○補助金額 休業手当に要した費用の一部 ～H24: 10分の1の額 H25: 6分の1の額				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令	刈谷市中小企業緊急雇用安定補助金交付要綱							
	対象者	目的欄※参照			事業期間	平成21年度 ～ 平成25年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・申請件数 153件 ・申請社数 121社 ・申請月数 384月 ・補助金額 26,238,360円		・申請件数 278件 ・申請社数 194社 ・申請月数 822月 ・補助金額 116,066,812円		・申請件数 63件 ・申請社数 49社 ・申請月数 136月 ・補助金額 7,038,454円		・申請社数 30社 ・申請月数 90月 ・補助金額 10,500,000円		
成果 (できたこと)		雇用が不安定な中、失業を予防することができ、雇用の安定と維持が図られた。								
課題 (できなかったこと)		景気の変動により申請件数が大きく上下するため、長期的なスパンでの施策の有効性の判断が難しい。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標	申請月数(月)			384	822	136	90	—		
指標										
他市との比較検証	愛知県内の他市で、事業化しているのは本市のみである。									
C 事業コスト	単位:千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳			
	事業費①		26,238	116,067	7,038	10,500	合計 7,038,454円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 7,038,454円			
		一般財源	26,238	116,067	7,038	10,500				
	職員人件費②		1,812	1,077	1,768	1,842				
	総事業費(①+②)		28,050	117,144	8,806	12,342				
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名							担当部	経済環境部		
一般会計			労働者福祉助成事業				担当課	商工課		
款	項	目					担当係	商工業係		
5	1	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	商工業							
		施策の内容	雇用・就労の安定確保							
	目的	労働団体等に対し団体及び事業補助を実施して、労働者福祉の支援を図る。				主たる内容	次の3団体に補助金を交付する。 また中小企業者の退職金共済制度への加入促進のため、加入事業者に対し補助金を交付する。 ○労働団体 刈谷市雇用対策協議会 連合愛知三河西地域協議会 愛知県労働者福祉協議会西三河支部 ○中小企業退職金共済制度加入促進補助金			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則、刈谷市中小企業退職金共済制度加入促進補助金交付要綱							
		対象者	団体・事業者			事業期間	昭和42年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O ハ 実 施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		3団体 2,400,000円交付 中退金 1,534,500円交付		3団体 2,400,000円交付 中退金 2,148,900円交付		3団体 2,400,000円交付 中退金 559,200円交付		3団体 2,400,000円交付 中退金 4,450,000円交付		
成果 (できたこと)		各団体の積極的な取組みにより、労働者等の育成・支援が図られ、工業の振興に繋がった。								
課題 (できなかったこと)		慣例的な支出とせず、事業の公共性や公益性を精査し、補助金支出の根拠や補助金額の積算根拠を明確にする必要がある。								
指標名称(単位)					実績値			目標値		
					22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動 指標	中退金交付企業数(件)				9	16	7	15	25	
指標										
他市との 比較検証	雇用対策協議会 岡崎市6,185千円、西尾市200千円。 連合愛知三河西地域協議会 碧南市270千円、安城市700千円、高浜市140千円。 愛知県労働者福祉協議会西三河支部 碧南市180千円、安城市250千円、西尾市230千円、知立市180千円、高浜市140千円。									
C 事業 コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳			
	事業費①		3,935	4,549	2,959	6,750	合計 2,959,200円			
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 2,959,200円			
		一般財源	3,935	4,549	2,959	6,750				
	職員人件費②		1,812	3,661	361	368				
	総事業費(①+②)		5,747	8,210	3,320	7,118				
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			労働金庫預託事業				担当部	経済環境部
一般会計							担当課	商工課
款	項	目					担当係	商工業係
5	1	1						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興					
		基本施策	商工業					
		施策の内容	雇用・就労の安定確保					
	目的	住宅資金、生活資金等を融資している東海労働金庫に資金を預託し、労働者の借入れを円滑に進め、福利厚生を充実させる。		主たる内容	東海労働金庫に資金を預託する。			
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画
		預託金額	100,000,000円	預託金額	100,000,000円	預託金額	100,000,000円	預託金額100,000,000
成果 (できたこと)		労働者の福利厚生を充実することができた。						
課題 (できなかったこと)		預託金額の妥当性について、検討、協議する。						
指標名称(単位)			実績値			目標値		
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		預託額(千円)		100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
指標								
他市との比較検証		本事業は、東海労働金庫が展開する融資に係る原資の一部を、各市町村で協調して預託するものであり、近隣市においても同様の制度を行っている。 碧南市40,000千円、安城市70,000千円、知立市5,000千円						
C 事業コスト		単位：千円	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①	100,000	100,000	100,000	100,000	合計	100,000,000円	
	財源	特定財源	100,000	100,000	100,000	100,000	貸付金	100,000,000円
		一般財源	0	0	0	0		
	職員人件費②	725	718	354	368			
	総事業費(①+②)	100,725	100,718	100,354	100,368			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)	0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0		労働金庫預託金元利収入				
26年度以降の事業費見込		0						

会計名		商工業振興団体補助事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	商工業係	
7	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	商業の活性化						
	目的	商工業振興団体に対し、団体及び事業補助を実施し、商工業の活性化を図る。			主たる内容	団体運営及び団体の実施事業に補助金を交付する。 ・愛知県中小企業団体中央会 ・刈谷商工会議所 ・中小企業相談所 ・刈谷市商店街連盟 ・刈谷鉄工協議会 ・刈谷市菓子工業組合			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則						
		対象者	各種団体		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		7団体 9,555,000円交付		7団体 9,555,000円交付		7団体 9,555,000円交付		6団体 9,445,000円交付予定	
成果 (できたこと)		各団体の積極的な事業実施により、市民への啓発、労働者の育成、事業者への支援等が図られ、商工業の活性化につながった。							
課題 (できなかったこと)		慣例的な支出とせず、事業費を対象として、事業の公共性や公益性を精査し、補助金支出の根拠や補助金額の積算根拠を明確にする必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動 指標		交付団体数(団体)			7	7	7	6	6
指標									
他市との 比較検証		補助条件等は異なるが、西三河地域の他市でも補助を行っている。なお、平成25年度当初予算ベースでは碧南市2,452千円、西尾市12,868千円、知立市19,195千円							
C 事業 コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		9,555	9,555	9,555	9,445	合計 9,555,000 円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 9,555,000 円		
		一般財源	9,555	9,555	9,555	9,445			
	職員人件費 ②		725	1,077	707	737			
	総事業費(①+②)		10,280	10,632	10,262	10,182			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名							担当部	経済環境部		
一般会計			産業展開催事業				担当課	商工課		
款	項	目					担当係	商工業係		
7	1	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	商工業							
		施策の内容	工業の振興							
	目的	刈谷産業まつりを開催し、人と産業のふれあい、交流をテーマに活気と魅力あふれる街づくりを目指す。				主たる内容	碧海5市の事業者による製品や商品の展示と即売、県外からの物産展、市内商工業団体等による即売会、各種イベントを開催する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成9年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・開催月日 11月6日、7日 ・開催場所 産業振興センター ・来場者数 25,000人		・開催月日 11月5日、6日 ・開催場所 産業振興センター ・来場者数 23,000人		・開催月日 11月3日、4日 ・開催場所 産業振興センター ・来場者数 26,000人		・開催月日 11月2日、3日 ・開催場所 産業振興センター ・来場者数 26,000人		
成果 (できたこと)		市民への企業PRはもとより、企業間交流の場としての成果もあり、さらに愛知県や大学・高等学校からも参加していただく産官学連携のイベントとなってきている。 また、市民に地域産業の理解を深めるとともに、出展者の相互交流により事業者の新たなビジネスチャンスの場ともなっている。								
課題 (できなかったこと)		広く市民のみなさんが楽しんでご来場いただくとともに、地元産業のPRの場となるようイベント内容を充実させる必要がある。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		来場者数(人)			25,000	23,000	26,000	26,000	27,000	
活動指標		参加企業数(社)			64	81	70	70	70	
他市との比較検証		岡崎市10,000千円。安城市は5年に1度の開催である。								
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		9,689	10,058	9,908	10,386	合計 9,907,571 円			
	財源	特定財源	1,090	1,220	1,140	1,000	需用費 229,671 円			
		一般財源	8,599	8,838	8,768	9,386	委託料 8,536,500 円			
	職員人件費②		2,899	2,512	2,122	2,211	使用料及び賃借料 1,141,400 円			
	総事業費(①+②)		12,588	12,570	12,030	12,597				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0		広告料収入						
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			中小企業新開発マネジメント事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	商工業係	
7	1	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	新製品、新技術の開発を支援することにより、市内中小企業を活性化させ、「モノづくりのまち刈谷」の発展を促進する。			主たる内容	市内企業を積極的に支援するため、企業が抱える様々な課題の相談に応じ、新たな事業展開、新製品開発等について相談指導、現場指導する事業を商工会議所に委託する。			
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市内事業者		事業期間	平成16年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 相談・指導事業 (相談・指導件数 135件) ビジネススクール事業 (開催回数 30回) (参加人数 延べ345人) 講演会事業 (開催回数 4回) (参加人数 145人) 		<ul style="list-style-type: none"> 相談・指導事業 (相談・指導件数 64件) ビジネススクール事業 (開催回数 34回) (参加人数 延べ352人) 講演会事業 (開催回数 2回) (参加人数 58人) 		<ul style="list-style-type: none"> 相談・指導事業 (相談・指導件数 105件) ビジネススクール事業 (開催回数 20回) (参加人数 延べ188人) 講演会事業 (開催回数 4回) (参加人数 149人) 		<ul style="list-style-type: none"> 相談・指導事業 (相談・指導件数 320件) 講演会事業 (開催回数 24回) (参加人数 480人) 	
成果 (できたこと)		相談と指導、ビジネススクールと講演会の開催事業を中心に、中小企業の活性化に貢献している。また、アンケートを実施し、企業からの要望を聞き取りながら内容の充実にも取り組んでおり、企業の経営体質や品質の改善、若手社員の教育等に有益な事業となっている。							
課題 (できなかったこと)		今後、ビジネススクール卒業生のアフターフォローに取り組み、企業の更なる活性化を支援する必要がある。また、本事業を積極的に広報し、相談や指導の件数、各種参加者数の増加を目指す。							
活動指標		指標名称 (単位)		実績値			目標値		
成果指標			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
他市との比較検証	近隣の商工会議所等でも、同様に中小企業からの経営相談に対して指導助言を行っているが、外部の専門家を派遣しているのは本市のみである。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		5,941	5,794	6,230	8,710	合計	6,230,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	6,230,000 円	
		一般財源	5,941	5,794	6,230	8,710			
	職員人件費 ②		1,450	1,077	1,415	1,474			
	総事業費 (①+②)		7,391	6,871	7,645	10,184			
建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
	24年度迄の累積事業費		0						
	26年度以降の事業費見込		0						

会計名		商業者活性化事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	商工業係	
7	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	商業の活性化						
	目的	市内全域の小売商業者・サービス業者の活性化のためのイベントや講習等を開催し、やる気のある商業者の育成を図る。 また、高齢化や後継者不足などによる商店街の組織力低下を補い、地域商店街の活性化を目指す。			主たる内容	商業者活性化のため、かりや商業まつりと一店逸品運動を刈谷商工会議所に委託する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内事業者及び消費者		事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・かりや商業まつり 参加店舗 196店 補助金額 6,000,000円 ・一店逸品運動 参加店舗 70店 補助金額 4,000,000円 ※参加店は先着順とし、上限を設けている。		・かりや商業まつり 参加店舗 200店 補助金額 6,000,000円 ・一店逸品運動 参加店舗 70店 補助金額 4,000,000円 ※参加店は先着順とし、上限を設けている。		・かりや商業まつり 参加店舗 198店 補助金額 6,000,000円 ・一店逸品運動 参加店舗 50店 補助金額 4,000,000円 ※参加店は先着順とし、上限を設けている。		・かりや商業まつり 参加店舗 200店 補助金額 6,000,000円 ・一店逸品運動 参加店舗 50店 補助金額 4,000,000円 ※参加店は先着順とし、上限を設けている。	
成果 (できたこと)		・かりや商業まつりでは例年参加店舗で買い物をするにより抽選で来店者に対して景品が用意されていたが、今年は趣向を凝らして、再び地域商店に還元される商品券へ変更したことは効果的であった。 ・一店逸品運動では今年度チラシを市内全戸配布による周知徹底とWEBサイトを活用して個店のPR強化に努めるとともに、県外の自治体が来街して視察するほど認知度が高くなり、事業の実施効果は大きいものであった。							
課題 (できなかったこと)		両イベントとも既存の事業内容にこだわらず、今後も工夫・アイデアを講じて参加店舗だけでなく来店者ニーズも取り入れることによってさらなる評価の向上をねらい、事業内容を検討する必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		参加店舗数(かりや商業まつり)(店舗)		196	200	198	200	200	
活動指標		参加店舗数(一店逸品運動)(店舗)		70	70	50	50	50	
他市との比較検証		近隣の商工会議所等でも、同様に一店逸品運動、商業まつりを展開しており、市が補助している。なお、平成25年度当初予算ベースでは碧南市(商業まつり:2,000千円、一店逸品:1,000千円)、西尾市(商業まつり:500千円、一店逸品:4,500千円)							
C 事業 コスト 建設 事業		単位:千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費①		10,000	10,000	10,000	10,000	合計	10,000,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,000,000円	
		一般財源	10,000	10,000	10,000	10,000			
	職員人件費②		2,175	2,154	707	737			
	総事業費(①+②)		12,175	12,154	10,707	10,737			
	建設 事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			商業団体街路灯等電灯料補助事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	商工業係	
7	1	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	商業の活性化						
	目的	商業団体が維持管理されている街路灯等の電灯料等を補助し、商店街の経費節減及び防犯効果を高める。			主たる内容	商業団体が維持管理されている街路灯等の電灯料、電球交換費及び道路占用料を100%補助する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市商業団体事業費補助金交付要綱						
		対象者	団体・事業者	事業期間	昭和55年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		利用団体	9団体	利用団体	9団体	利用団体	9団体	利用団体	9団体
補助金額		8,194,791円	補助金額	8,358,737円	補助金額	9,120,480円	補助金額	8,740,000円	
成果 (できたこと)		商店街の街路灯の維持管理経費を支援することで、商店街の活性化と防犯対策に貢献している。また、組合員の減少等により財政基盤が弱体化している商業団体の負担を軽減することで、商業団体の活動継続を支援した。							
課題 (できなかったこと)		組合員等の減少や商店街の衰退などの理由から、商店街振興組合を解散して発展会への移行を希望する商業団体が増加しており、街路灯の所有及び維持管理が困難になった場合の対応について、早急に検討する必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		補助対象商業団体数(団体)			9	9	9	9	9
指標									
他市との比較検証		近隣市においても補助条件などに差はあるが、電灯料等の補助事業を行っている。 近隣市予算額 岡崎市2,000千円、碧南市10,797千円、西尾市2,335千円、知立市6,773千円							
C 事業コスト	単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		8,195	8,359	9,120	8,740	合計 9,120,480円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 9,120,480円		
		一般財源	8,195	8,359	9,120	8,740			
	職員人件費②		1,087	1,077	707	737			
	総事業費(①+②)		9,282	9,436	9,827	9,477			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			商業団体事業費補助事業				担当部	経済環境部		
一般会計							担当課	商工課		
款	項	目					担当係	商工業係		
7	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	商工業							
		施策の内容	商業の活性化							
	目的	商業団体が行う事業等の実施に要する費用を補助し、中小事業者の組織化を促進するとともに、その経営の合理化及び販路の開拓を図り、商業の活性化を目指す。				主たる内容	商業団体がその活性化のために行う各種事業にかかる経費の一部を補助する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市商業団体事業費補助金交付要綱							
		対象者	商店街振興組合等		事業期間	昭和55年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		利用団体	10団体	利用団体	11団体	利用団体	11団体	利用団体	12団体	
補助金額		23,788,697円	補助金額	17,160,523円	補助金額	17,990,235円	補助金額	27,610,000円		
成果 (できたこと)		顧客へのサービス及び地域住民のコミュニケーションを盛んにし、販売促進と商店街の活性化が図られた。								
課題 (できなかったこと)		万燈祭や地域の盆踊りなどと同時開催している夏祭りイベントが多く、地元住民には喜ばれている。今後は商店街各店舗の集客力を高め、売上向上につなげていく事業を実施する必要がある。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		交付団体数(団体)			10	11	11	12	12	
指標										
他市との比較検証		補助条件等は異なるが、西三河地域のほとんどの市が補助事業を行っている。なお、平成25年度当初予算ベースでは岡崎市7,016千円、碧南市4,500千円、安城市31,100千円、西尾市2,200千円、知立市0円(今年度交付予定無しだが、状況に応じて補正予算にて対応)、みよし市20,000千円								
C 事業コスト	単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳			
	事業費①		23,789	17,161	17,990	27,610	合計		17,990,235円	
	財源	特定財源	11,000	6,036	6,470	7,875	負担金、補助及び		交付金	
		一般財源	12,789	11,125	11,520	19,735	17,990,235円			
	職員人件費②		2,537	2,154	1,061	2,579				
	総事業費(①+②)		26,326	19,315	19,051	30,189				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0		げんき商店街推進事業費補助金(県)						
26年度以降の事業費見込		0								

会計名		新産業技術開発支援補助事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	商工業係	
7	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	市内企業の新たな技術開発を促進し技術力向上による事業の発展と経営の安定を図る。		主たる内容	市内企業が公的試験機関であるあいち産業科学技術総合センター、名古屋市工業研究所及び公益財団法人科学技術交流財団あいちシンクロトロン光センターが行う依頼試験等を利用した場合に係る費用の一部を補助する。 ○補助対象経費 公的機関に納入した依頼試験等の利用に要した手数料 ○補助金の額 納入した依頼試験等の利用に要した手数料の3分の2（円未満切捨て） ※1年度につき上限50万円				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市新産業技術開発支援補助金交付要綱						
		対象者	市内事業者	事業期間	平成22年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・申請件数 56件 ・補助金額 1,497,317円		・申請件数 102件 ・補助金額 4,113,304円		・申請件数 105件 ・補助金額 4,640,375円		・申請件数 120件 ・補助金額 6,000,000円	
成果 (できたこと)		企業の新たな技術開発を支援するとともに、公的試験機関の利用促進の一助となった。							
課題 (できなかったこと)		補助制度の啓発を行い、企業の新たな技術開発を支援する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標	申請件数（件）		56	102	105	120	130		
指標									
他市との比較検証	公的機関を利用した技術開発の支援は刈谷市と安城市のみである。安城市17,960千円。（ただし中小企業者が行う依頼試験、人材育成、販路拡大等の補助事業の合計額）								
C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		1,497	4,113	4,640	6,000	合計 4,640,375 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 4,640,375 円		
		一般財源	1,497	4,113	4,640	6,000			
	職員人件費 ②		1,450	395	389	442			
	総事業費 (①+②)		2,947	4,508	5,029	6,442			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称				
	24年度迄の累積事業費		0						
	26年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計		商工会議所創立60周年記念事業費補助事業				担当部	経済環境部	
款	項					目	担当課	商工課
7	1					1	担当係	商工業係
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興					
		基本施策	商工業					
		施策の内容	商業の活性化					
	目的	刈谷商工会議所が創立60周年を記念して行う事業の一部を補助し、市内商工業の振興と地域経済の活性化を図る。		主たる内容	刈谷商工会議所が実施する「安心・安全ネットワーク事業」、「公開講演会」、「60周年記念回報特別号」、「出張!なんでも鑑定団in刈谷」に係る経費の5分の1(200万円を上限)を補助する。			
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
		対象者			事業期間	平成24年度 ~ 平成24年度		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画
		_____		_____		・公開講演会 参加人数1,180人 ・なんでも鑑定団 来場者数300人		_____
成果 (できたこと)		刈谷商工会議所の創立60周年を記念した各事業を通じて、地域経済活性化、地域商工業の振興、安心・安全なまちづくりの発展に寄与できた。						
課題 (できなかったこと)		刈谷市商工会議所の創立60周年と各種事業の関連性、補助率の根拠の精査が必要である。						
指標名称(単位)			実績値			目標値		
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
指標								
指標								
他市との比較検証	本市独自の事業のため比較はできない。							
C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,604	0	合計 1,603,939 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 1,603,939 円	
		一般財源	0	0	1,604	0		
	職員人件費 ②		0	0	707	0		
	総事業費(①+②)		0	0	2,311	0		
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称		
24年度迄の累積事業費		0						
26年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			見本市等出展支援事業				担当部	経済環境部
款	項	目					担当課	商工課
7	1	1					担当係	商工業係
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興					
		基本施策	商工業					
		施策の内容	工業の振興					
	目的	市内企業が市場開拓や販路拡大等のために展示商談会や見本市等へ出展することにより自立的発展を促すとともに市内企業の経営基盤の強化を支援する。			主たる内容	見本市等の複数小間のブースを直接借り上げ、本市のPR活動を行うとともに、市内企業に出展機会を与える。		
	位置づけ							
	関連計画							
	根拠法令							
	対象者	市内事業者		事業期間	平成24年度 ~ 平成28年度			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画
				・第2回次世代ものづくり基盤技術産業展への参加 ・出展企業数 3社		・第3回次世代ものづくり基盤技術産業展への参加 ・出展企業数 5社		
成果 (できたこと)		市内の優れたものづくりの技術力を発信し、企業の販路拡大や新たなビジネスパートナーの発掘を支援するため、見本市のブースを借上げ、市内企業3社に出展機会を提供した。						
課題 (できなかったこと)		現在は企業へ見本市出展へのノウハウを提供するため、市が見本市のブースを借り上げ参加企業を募っているが、将来的には企業に直接見本市への参加を促し間接的な支援方法を検討している。また、見本市出展の意欲はあるが、出展に係る人員を配置できない零細企業に対する支援策等を模索する必要がある。						
指標名称 (単位)			実績値			目標値		
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		見本市出展企業数 (社)		—	—	3	5	—
指標								
他市との比較検証		他市においても見本市等への出展支援の制度はあるが、出展費用の補助を行うものであり、市がブースを借り上げ、企業へ出展機会を提供するのは本市のみである。岡崎市20,000千円、安城市17,960千円、高浜市1,965千円。(ただし岡崎市、安城市については、販路拡大、依頼試験、新製品の開発等の補助事業の合計額)						
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳
	事業費 ①		0	0	4,032	4,200	合計	4,032,000 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,646,000 円
		一般財源	0	0	4,032	4,200	使用料及び賃借料	1,386,000 円
	職員人件費 ②		0	0	1,768	2,211		
	総事業費 (①+②)		0	0	5,800	6,411		
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称		
24年度迄の累積事業費		0						
26年度以降の事業費見込		0						

会計名			中小企業投資促進補助事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	商工業係	
7	1	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	市内中小企業の流出防止、雇用の維持・拡大、経営基盤の強化等を図り、地域経済の振興と市民生活の向上に寄与する。		主たる内容	市内中小企業が、工場・研究所の新増設及び改修、または機械設備装置を購入した場合にその費用の一部を補助する。 なお、愛知県新あいち創造産業立地補助金交付要綱のAタイプに採択された場合は、補助金を上乗せして補助する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	愛知県新あいち創造産業立地補助金交付要綱、刈谷市中小企業投資促進補助金交付要綱						
		対象者	中小企業	事業期間	平成24年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		_____		_____		・事業認定件数 12件 ・交付実績 2件 7,086,000円		・事業申請件数 12件 ・交付見込 4件 160,000,000円	
成果 (できたこと)		愛知県の補助制度も取り入れながら、本市独自の投資促進制度を構築し、市内中小企業の設備投資等を促した。また、企業に対して事業計画の段階から相談に応じ、本制度の利用促進に努めた。さらに、愛知県の補助制度の利用についても企業と連携しながら対応し、企業の負担軽減と事業拡大に寄与することで、企業の市外流出防止とともに地域経済の振興を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		愛知県への事前申請準備と企業の投資計画策定の調整に時間を要している。							
指標名称 (単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		事業認定申請件数 (件)			—	—	12	12	12
活動指標		交付申請件数 (件)			—	—	2	4	4
他市との比較検証		西三河地域のほとんどの市において愛知県の補助要件に準じて補助を実施しているため、補助対象分野、投資規模要件等が、本市に比べて限定されている。なお、平成25年度当初予算ベースでは岡崎市0円 (今年度交付予定無しだが、状況に応じて補正予算にて対応)、碧南市30,000千円、安城市82,400千円、西尾市61,352千円、知立市1,546千円							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	7,086	160,000	合計 7,086,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	75,000	負担金、補助及び 交付金 7,086,000 円		
		一般財源	0	0	7,086	85,000			
	職員人件費 ②		0	0	1,967	2,948			
	総事業費 (①+②)		0	0	9,053	162,948			
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			中小企業防災対策支援事業				担当部	経済環境部		
一般会計							担当課	商工課		
款	項	目					担当係	商工業係		
7	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防災							
		施策の内容	防災体制の充実							
	目的	災害や事故等の発生時における市内企業の事業の継続や早期復旧を可能とするための計画（事業継続計画、以降BCP）作成等を支援する。			主たる内容	○巨大地震の被害規模予測や激甚災害からの産業復興の在り方について講演会を開催 ○構造物の耐震対策や情報資源の防御策、企業防災対策事例に対する講座を開催 ○実践的なBCP作成講座の開催 ○講座後に企業への個別支援の実施 ○BCP作成ハンドブックの作成及びWEB公開				
	位置づけ	第2次刈谷市地震対策アクションプラン								
	関連計画	第2次刈谷市地震対策アクションプラン								
	根拠法令									
	対象者	市内事業者			事業期間	平成23年度 ~ 平成24年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	22年度実績		23年度実績			24年度実績		25年度計画	
		・講座開催日数 4日間 ・参加企業数 6社			・講演会参加企業数 24社 ・講座受講企業数 地震対策講座 16社 BCP作成講座 18社 ・個別支援企業数 3社 ・BCP作成ハンドブックの作成及びWEB公開					
成果 (できたこと)		講演会や講座の開催を通じて企業にBCPの必要性の周知と作成支援を行った。また、個別訪問サポートにより、市内企業3社のBCP及び減災対策アクションプラン作成の具体化に寄与した。								
課題 (できなかったこと)		講演会、地震対策講座、BCP作成講座を開催し、段階的にBCP作成に係るノウハウを提供した上で、実際に参加企業がBCP作成段階において直面する課題の解決を支援するため個別訪問サポートを行ったが、年度内にBCPを完成できなかった企業はなかった。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		参加企業数(社)			—	6	61	—	—	
指標										
他市との比較検証		愛知県内の他市で、事業としての開催はない。								
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	3,938	3,695	0	合計	3,694,530 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,694,530 円		
		一般財源	0	3,938	3,695	0				
	職員人件費 ②		0	1,436	2,122	0				
	総事業費 (①+②)		0	5,374	5,817	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			商工業振興資金貸付預託事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	商工業係	
7	1	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	金融機関との取引機会の少ない中小規模の商工業者が、事業上必要とする資金の融資を円滑にすることにより、その経営の振興に資する。			主たる内容	愛知県商工業振興資金融資制度の運用資金として、市と県が協調して市内取扱金融機関に資金預託を行う。			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内事業者	事業期間	昭和60年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	DO 実績	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		利用件数	63件	利用件数	80件	利用件数	86件	利用件数	90件
融資金額		322,200,000円	融資金額	631,800,000円	融資金額	532,080,000円	融資金額	650,000,000円	
成果 (できたこと)		中小企業に対する低金利融資制度として、資金調達の円滑化に寄与している。							
課題 (できなかったこと)		平成21~22年度においては、より低金利なセーフティネット資金など他の県融資制度が強化されたため、利用者数は減少した。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		利用件数(件)			63	80	86	90	95
指標									
他市との比較検証		近隣市においても規模の差はあるが、預託事業を行っている。 近隣市予算額 岡崎市：450,000千円、碧南市：100,000千円、安城市：200,000千円、西尾市：150,000円、知立市：100,000千円、高浜市：70,000千円、みよし市：58,000千円							
C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		325,000	325,000	325,000	325,000	合計	325,000,000 円	
	財源	特定財源	325,000	325,000	325,000	325,000	貸付金	325,000,000 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		1,812	1,436	707	737			
	総事業費(①+②)		326,812	326,436	325,707	325,737			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0		商工業振興資金預託金元利収入					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		商工業者事業資金貸付預託事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	商工業係	
7	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	市内の中小規模の商工業者が、事業上必要とする資金の融資を円滑にすることにより、その経営の合理化と健全な成長発展を図る。	主たる内容	刈谷市商工業者事業資金融資制度の運用資金として市内取扱金融機関に資金を預託し、融資の円滑化を図る。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市商工業者事業資金融資制度要綱						
		対象者	市内事業者	事業期間	平成6年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		利用件数	91件	利用件数	99件	利用件数	105件	利用件数	110件
融資金額		242,050,000円	融資金額	323,550,000円	融資金額	345,310,000円	融資金額	350,000,000円	
成果 (できたこと)		他の融資制度より有利な金利で借入ができることから、特に小規模・零細企業の資金調達の円滑化に寄与している。							
課題 (できなかったこと)		平成21~22年度においては、より低金利なセーフティネット資金など他の県融資制度が強化されたため、利用者数は減少した。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		利用件数(件)		91	99	105	110	115	
指標									
他市との比較検証		岡崎市、西尾市において、独自の預託事業を行っている。 近隣市予算額 岡崎市：900,000千円、西尾市：300,000千円							
C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		102,590	72,310	90,600	110,390	合計	90,600,000円	
	財源	特定財源	102,590	72,310	90,600	110,390	貸付金	90,600,000円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		2,175	1,795	1,061	1,105			
	総事業費(①+②)		104,765	74,105	91,661	111,495			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0		商工業者事業資金預託金元利収入					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			信用保証料補助事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	商工業係	
7	1	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	市内中小企業の発展のための融資が、円滑に行われるよう信用保証料を補助し、経費の軽減を図る。			主たる内容	愛知県信用保証協会の保証により融資を受けた中小企業に対し、その金額に対する信用保証料の全部又は一部を補助する。 ○補助融資制度 愛知県小規模企業等振興資金・愛知県一般事業資金・愛知県経済環境適応資金・刈谷市商工業者事業資金 ○補助率 100% ○限度額 同一年度内で40万円 (市外事業者は10万円)			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	信用保証料補助金交付要綱						
		対象者	市内事業者	事業期間	昭和56年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・愛知県商工業振興資金 43件 補助金5,356,731円 ・愛知県経済環境適応資金 197件 補助金47,327,322円 ・刈谷市商工業者事業資金 82件 補助金6,780,077円		・愛知県商工業振興資金 77件 補助金12,061,882円 ・愛知県経済環境適応資金 216件 補助金47,237,595円 ・刈谷市商工業者事業資金 95件 補助金9,149,721円 ・愛知県一般事業資金 97件 補助金14,207,021円		・愛知県小規模企業等振興資金 81件 補助金9,533,601円 ・愛知県経済環境適応資金 169件 補助金36,094,131円 ・刈谷市商工業者事業資金 101件 補助金8,439,988円 ・愛知県一般事業資金 87件 補助金12,996,652円		・愛知県小規模企業等振興資金 80件 ・愛知県経済環境適応資金 220件 ・刈谷市商工業者事業資金 100件 ・愛知県一般事業資金 100件	
成果 (できたこと)		平成23年4月から平成26年3月までの期限付きで、補助限度額を20万円から40万円に引上げ、対象となる融資制度によって50%から100%に分かれている補助率を一律100%とするとともに「愛知県一般事業資金」を対象融資制度に加えた。 (補助率と補助限度額の引上げは平成21年4月からの経過措置を延長。)							
課題 (できなかったこと)		景気動向などにより、対象となる融資制度や補助率、補助限度額を見直す必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		申請件数(件)		322	485	438	500	500	
指標									
他市との比較検証		他市においても、信用保証料の補助を行っているが、本市では、対象となる融資制度や補助率、補助限度額において、最も手厚い補助を行っている。 近隣市予算額 岡崎市78,100千円、碧南市25,000千円、安城市70,000千円、西尾市5,909千円、知立市5,076千円、高浜市22,000千円、みよし市5,000千円							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		59,464	82,656	67,064	100,000	合計 67,064,372 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 67,064,372 円		
		一般財源	59,464	82,656	67,064	100,000			
	職員人件費 ②		2,175	1,795	1,415	1,474			
	総事業費(①+②)		61,639	84,451	68,479	101,474			
建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
	24年度迄の累積事業費		0						
	26年度以降の事業費見込		0						

会計名							担当部	経済環境部		
一般会計			震災対策利子補給事業				担当課	商工課		
款	項	目					担当係	商工業係		
7	1	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防災							
		施策の内容	防災体制の充実							
	目的	主に東日本大震災の影響を受けた市内中小企業の経費節減を図るため、融資に必要な利子の一部を補助し、資金繰りを支援する。				主たる内容	愛知県経済環境適応金融融資制度のうち、「環セ」「環特災」「環震」「環ガ」に対する利子を補給 ○補助対象期間：平成23年4月1日から平成24年3月31日までの間に融資を実行したもの ○補助率等：平成25年3月31日までに支払われた利子のうち、最大6回分の支払利子額の100パーセントを補助 ○補助上限額：同一の補助対象者に対し20万円			
	位置づけ	関連計画 根拠法令 刈谷市震災対策利子補給補助金交付要綱								
	対象者	市内中小企業者			事業期間	平成23年度 ~ 平成24年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績			24年度実績		25年度計画	
		_____		<ul style="list-style-type: none"> 環セ 申請件数 31件 補助金額 2,777,287円 環特災 申請件数 23件 補助金額 2,355,769円 環震 申請件数 18件 補助金額 1,942,518円 環ガ 申請件数 99件 補助金額 8,744,977円 			<ul style="list-style-type: none"> 環セ 申請件数 46件 補助金額 2,962,395円 環特災 申請件数 43件 補助金額 2,997,521円 環震 申請件数 10件 補助金額 1,061,459円 環ガ 申請件数 44件 補助金額 3,905,915円 		_____	
		成果 (できたこと)	東日本大震災の間接的な影響を受けた市内中小企業者に対し、経費削減を図り、円滑な資金繰りの一助となった。							
課題 (できなかったこと)		関係機関と連携し、包括的な企業防災施策について検討する必要がある。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
活動指標	申請件数(件)		—	171	143	—	—			
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	15,821	10,927	0	合計 10,927,290 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 10,927,290 円			
		一般財源	0	15,821	10,927	0				
	職員人件費 ②		0	2,154	1,061	0				
	総事業費(①+②)		0	17,975	11,988	0				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			観光用倉庫管理事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	万燈、山車などを収納する観光用倉庫を適切に管理することで、伝統行事の継承、発展を目指す。	主たる内容	倉庫管理用の名鉄高架下倉庫の借地料、火災保険料、電気料を支払う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	なし	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 計画V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		土地借上げ料 火災保険料 電気料		土地借上げ料 火災保険料 電気料		土地借上げ料 火災保険料 電気料		土地借上げ料 火災保険料 電気料	
成果 (できたこと)		観光用倉庫を適切に管理することができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
指標									
指標									
他市との 比較検証		祭事道具の所有権、大きさの違いなどから他市と単純に比較することは難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		1,800	1,629	1,669	1,680	合計	1,669,057 円	
	財源	特定財源	243	243	258	288	需用費	48,574 円	
		一般財源	1,557	1,386	1,411	1,392	役務費	16,043 円	
	職員人件費 ②		362	359	707	368	使用料及び賃借料	1,604,440 円	
	総事業費(①+②)		2,162	1,988	2,376	2,048			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
		24年度迄の累積事業費		0		鉄道高架下倉庫等賃貸料			
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		観光PR施設整備事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	観光係	
7	1					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏域市町の観光情報発信拠点として、刈谷ハイウェイオアシス内にあるオアシス館刈谷を充実させる。	主たる内容	オアシス館刈谷の展示物品の変更や修繕及び管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
	対象者	なし		事業期間	平成18年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		PC、映像機器等修繕 デンソー夢卵動産保険 映像機器等保守管理委託 オアシス館刈谷リニューアル設計委託		PC、映像機器等修繕 デンソー夢卵搬出 刈谷工業高校作品展搬入		PC、映像機器等修繕 オアシス館刈谷改修工事		PC、映像機器等修繕 (観光PR施設管理事業に移行)	
成果 (できたこと)		オアシス館刈谷の改修工事等を実施することによって内容の充実を図り、刈谷ハイウェイオアシスに来る多くの来場者に対し、刈谷市を含む衣浦定住自立圏域市町の観光情報を積極的に発信することができた。							
課題 (できなかったこと)		多くの来場者に対し効果的な情報発信を行うためにも、定期的なりリニューアルが必要となる。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		オアシス館刈谷来場者数(人)		810,100	620,000	520,300	550,000	700,000	
指標									
他市との比較検証		他市に類似の施設がないため比較できない。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費①		3,507	452	31,773	154	合計	31,773,346円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	186,480円	
		一般財源	3,507	452	31,773	154	役務費	201,165円	
	職員人件費②		1,450	1,077	2,830	737	委託料	5,802,451円	
	総事業費(①+②)		4,957	1,529	34,603	891	工事請負費	25,583,250円	
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		観光用倉庫改修事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	観光係	
7	1					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	観光用倉庫を改修し、万燈祭など地元のお祭りを充実させるための倉庫として活用できるようにする。	主たる内容	半分を市の物品保管倉庫、もう半分を万燈蔵として使用している観光用倉庫を、全体を万燈蔵として有効活用できるように改修する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
	対象者	なし		事業期間	平成24年度 ~ 平成24年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		_____		_____		観光用倉庫改修工事 間仕切等撤去工事 照明器具等工事		_____	
成果 (できたこと)		倉庫の改修により、万燈蔵として活用できるようになり、地元の万燈祭の活動に貢献することができるようになった。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
指標									
指標									
他市との 比較検証		他市に、万燈祭と類似した行事がないため、比較は難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	600	0	合計	600,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	600,000 円	
		一般財源	0	0	600	0			
	職員人件費 ②		0	0	354	0			
	総事業費(①+②)		0	0	954	0			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		観光協会補助事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	観光係	
7	1					2			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷市観光協会への補助を通し、観光資源の発掘やPR、祭りやイベントを開催し、観光の振興による市の活性化を目指す。		主たる内容	刈谷市観光協会が行う観光事業の経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	刈谷市観光協会	事業期間	平成10年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O A 実 施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・主催・共催事業 桜まつり、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、市民総踊り、KARIYA洲原音楽祭、コスプレフェスタinKARIYA、野田雨乞笠おどり、刈谷100景展		・主催・共催事業 桜まつり、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、刈谷総おどり、KARIYA洲原音楽祭、コスプレフェスタinKARIYA、野田雨乞笠おどり、菊花大会、わたしの刈谷展		・主催・共催事業 桜まつり、万燈祭、わんさか祭り、刈谷総おどり、KARIYA洲原音楽祭、コスプレフェスタinKARIYA、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展		・主催・共催事業 桜まつり、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、KARIYA洲原音楽祭、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展	
成果 (できたこと)		平成10年3月に刈谷市観光協会が発足して以来、祭りやイベントの実施機関として大きな役割を果たしている。							
課題 (できなかったこと)		祭りやイベントの実施機関としての役割だけでなく、観光資源の発掘やPRの面を今後は推進する必要がある。また、将来的な組織の発展に向け、観光協会事務局の自立化を検討する必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動 指標	主催・共催事業来場者数(人)		409,275	294,296	314,580	330,000	360,000		
指標									
他市との 比較検証	観光協会が主催するイベントの多さから、補助金額が県内他市町村に比較して多くなっている。								
C 事 業 コ ス ト V	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		85,000	85,000	80,000	85,626	合計 80,000,000 円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 80,000,000 円		
		一般財源	85,000	85,000	80,000	85,626			
	職員人件費 ②		1,450	1,436	1,203	1,474			
	総事業費(①+②)		86,450	86,436	81,203	87,100			
	建 設 事 業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光団体補助事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	観光団体への補助を通し、伝統の継承と観光の振興による地域活性化を図る。		主たる内容	野田雨乞笠おどり保存会の祭り開催に要する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	野田雨乞笠おどり保存会		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 菊花大会 台風の影響により中止 野田雨乞笠おどり 開催日：8月29日 場所：野田八幡宮 来場者数：850人 		<ul style="list-style-type: none"> 菊花大会 開催日：11月2日～6日 場所：70-70ルガーデンよさみ 来場者数：3,350人 野田雨乞笠おどり 開催日：8月28日 場所：野田八幡宮 来場者数：660人 		<ul style="list-style-type: none"> 野田雨乞笠おどり 開催日：8月26日 場所：野田八幡宮 来場者数：580人 (菊花大会は刈谷市菊花会が解散したため開催しない。) 		<ul style="list-style-type: none"> 野田雨乞笠おどり 開催日：8月25日 場所：野田八幡宮 来場者数：600人 	
成果 (できたこと)		古くから野田地区に伝わる雨乞おどりを観光資源として誘客に役立てることができた。また、300年の歴史があり、市の無形民俗文化財に指定している野田雨乞笠おどりの保存、継承に役立っている。							
課題 (できなかったこと)		イベントのマナー化等の理由から来場者数が伸び悩んでいる。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動 指標		来場者数(人)		850	4,010	580	600	600	
指標									
他市との 比較検証		野田雨乞笠おどりは刈谷市独自の祭事であるため比較できない。							
C 事業 コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		136	250	120	120	合計 120,000 円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 120,000 円		
		一般財源	136	250	120	120			
	職員人件費 ②		1,450	1,077	354	368			
	総事業費(①+②)		1,586	1,327	474	488			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		万燈祭開催補助事業				担当部	経済環境部			
一般会計						担当課	商工課			
款	項					目	担当係	観光係		
7	1					2				
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	刈谷万燈保存会への補助を通し、万燈祭の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。		主たる内容	刈谷万燈保存会の祭り開催に要する経費を補助する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
		根拠法令								
		対象者	刈谷万燈保存会		事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・開催日 7月31日・8月1日 ・来場者数 70,000人		・開催日 7月30日・31日 ・来場者数 70,000人		・開催日 7月28日・29日 ・来場者数 90,000人		・開催日 7月27日・28日 ・来場者数 90,000人		
成果 (できたこと)		刈谷市中心部での開催のほか、市内外の他のイベントにも積極的に参加することで、知名度が向上し、刈谷市を代表する祭りとして市内外に認知されるようになってきている。また、企業も近隣の地区と合同で万燈製作や祭りに参加することで、祭りの活性化及び地域における連帯感の醸成にも繋がっている。								
課題 (できなかったこと)		認知度は高まりつつあるものの、市内北部と南部地域に浸透の余地がある。また、祭りの一層の活性化及び市内外からの観光客の増加を図るためには、伝統の継承のほか、限られたスペースや時間等の制約の中で、商工会議所や商店街等の既存の地域資源の活用やそれらとの連携のほか、情報発信の充実や効果的なPR手法の採用に取り組む必要がある。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
活動 指標	来場者数(人)		70,000	70,000	90,000	90,000	100,000			
指標										
他市との 比較検証	刈谷市独自の祭事であるため比較できない。									
C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳			
	事業費 ①		4,980	4,980	4,980	5,280	合計 4,980,000 円			
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 4,980,000 円			
		一般財源	4,980	4,980	4,980	5,280				
	職員人件費 ②		725	718	637	368				
	総事業費(①+②)		5,705	5,698	5,617	5,648				
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名		万燈保存会山車等修理補助事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	観光係	
7	1					2			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	万燈祭の開催により破損する道具の補修費用を補助することで、祭りを充実させる。	主たる内容	愛知県の無形民俗文化財に指定されている万燈祭で使用する山車、提灯、太鼓等の道具を修繕する経費の半額を補助する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令	万燈製作場設置等補助金交付要綱						
		対象者	刈谷万燈保存会	事業期間	~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		手張提灯修理 4ヶ		手張提灯修理 10ヶ		手張提灯修理 9ヶ		(万燈祭開催補助事業と統合)	
高張提灯修理 3ヶ		高張提灯修理 8ヶ		高張提灯修理 12ヶ					
傘鉾提灯修理 48ヶ		傘鉾提灯修理 3ヶ		傘鉾提灯修理 10ヶ					
胴太鼓修理 2ヶ		締太鼓修理 1ヶ		締太鼓修理 1ヶ					
締太鼓修理 1ヶ									
成果 (できたこと)		祭事での使用に伴い老朽化する道具の修繕に補助することで、万燈祭の継承に寄与することができた。また、道具の修繕に対する是非の判断が難しく、祭り開催に伴う必要経費と捉え、万燈祭開催補助事業と整理統合を図った。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
指標									
指標									
他市との比較検証	太鼓、提灯等を使用する祭りは他市にもあるが、それぞれの市での位置づけ等により比較は難しい。								
C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		300	300	120	0	合計	120,250 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金	120,250 円	
		一般財源	300	300	120	0			
	職員人件費 ②		362	359	141	0			
	総事業費(①+②)		662	659	261	0			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			大名行列道具整備事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	大名行列に使用する道具を整備することで、祭りを充実させる。			主たる内容	市無形民俗文化財に指定している大名行列「奴のねり」で使用する槍等の道具を修繕する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
			根拠法令						
		対象者	なし	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		先道具頭修理 2ヶ		大鳥毛頭解体調整修理 2ヶ 先道具頭修理 1ヶ 立弓装飾部修理 6箇所		大鳥毛竿修理 1ヶ 弓装飾部修理 2箇所		大鳥毛頭解体調整修理等	
成果 (できたこと)		祭事での使用に伴い老朽化する道具を修繕することで、「奴のねり」の継承に寄与することができた。							
課題 (できなかったこと)		特殊な道具であるため、修繕可能な業者が限られる。観光振興よりも文化財の保存、継承といった視点からの修繕が求められている。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
指標									
指標									
他市との比較検証		西尾市に類似行事があるが、それぞれ独自の道具を使用するため比較は難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		284	284	242	300	合計	241,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	241,500 円	
		一般財源	284	284	242	300			
	職員人件費 ②		362	359	354	368			
	総事業費(①+②)		646	643	596	668			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		わんさか祭り花火打ち揚げ事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	観光係	
7	1					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	わんさか祭り花火大会において、市内企業及び市民からの協賛金にあわせ、市も支出して花火を打ち上げることで、花火大会としての魅力を向上させ、市民に楽しんでもらうとともに、観光の振興を目指す。	主たる内容	メロディ花火を中心とした花火を打ち上げる。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月14日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月20日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月18日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月17日 発数：約7,000発（全体）	
成果 (できたこと)		同規模の近隣市町村と比較しても誇ることのできる花火大会となっている。また、市内で開催されるイベントでも一番の集客力を持つイベントとなっている。							
課題 (できなかったこと)		大勢の観客が来場することから、会場周辺での交通渋滞や違法駐車が大きな問題となっている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動 指標		来場者数（人）			150,000	90,000	130,000	150,000	150,000
指標									
他市との 比較検証		近隣では、岡崎市、豊田市、碧南市（半田市と共催）、西尾市、みよし市等で花火大会が開催されている。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		10,000	10,000	10,000	10,000	合計	10,000,000 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,000,000 円	
		一般財源	10,000	10,000	10,000	10,000			
	職員人件費 ②		1,450	1,436	141	1,105			
	総事業費 (①+②)		11,450	11,436	10,141	11,105			
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称			
		24年度迄の累積事業費		0					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	経済環境部		
一般会計							担当課	商工課		
款	項	目					担当係	商工業係		
7	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	商工業							
		施策の内容	工業の振興							
	目的	産業振興センターの施設管理を都市施設管理協会に委託し、業務の効率的な運営を図るとともに、安全管理に努める。				主たる内容	産業振興センターの施設の保守・管理を委託する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例							
		対象者	都市施設管理協会		事業期間	平成17年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		使用区分単位の利用率 54.56%		使用区分単位の利用率 49.21%		使用区分単位の利用率 49.27%		使用区分単位の利用率 50.00%		
利用者数 253,853人		利用者数 244,365人		利用者数 257,989人		利用者数 260,000人				
成果 (できたこと)		利用者も多分野に広がりを見せており、管理面で対応が難しい事例があるが、経験豊かなOB等による管理・運営のため臨機応変に対応し、安定的に適正な運営が行われている。								
課題 (できなかったこと)		会議室等の使用料金と、駐車場利用者への補助額において、収支を見た場合、駐車場補助額の方が大きい事例があるため、経営という観点から、また他施設との整合性を見ながら検討する必要があると考える。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		利用者数(人)			253,853	244,365	257,989	260,000	265,000	
指標										
他市との比較検証		使用料金が安く、公共交通機関が近在する等の理由により、他市と比較して利用者にとって良好な環境にある。								
C 事業コスト	単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳			
	事業費①		154,285	153,461	151,504	169,513	合計	151,503,936円		
	財源	特定財源	64,353	72,635	66,971	71,299	役員費	136,608円		
		一般財源	89,932	80,826	84,533	98,214	委託料	151,367,328円		
	職員人件費②		1,087	1,077	707	737				
	総事業費(①+②)		155,372	154,538	152,211	170,250				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0		産業振興センター使用料 行政財産目的外使用料 電話料実費徴収金						
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設整備事業				担当部	経済環境部	
一般会計							担当課	商工課	
款	項	目					担当係	商工業係	
7	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	産業振興センターの本館会議室にガラスフィルムを貼付し、節電に努めると共に、会議室の適正な管理を図る。			主たる内容	産業振興センターの施設・設備等の整備を行う。 ○完成年月日 平成7年10月28日 ○延床面積 10,472㎡			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者				事業期間	~		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
				・401会議室設計委託件数 1件 ・工事件数 6件		・会議案内システム環境設計委託件数 1件 ・会議案内システム機器借入れ 1件 ・工事件数 9件		・工事件数 1件予定	
成果 (できたこと)		老朽化した設備の改修をすることができた。							
課題 (できなかったこと)		産業振興センターの設備を維持するにあたり、費用対効果を検証する必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		利用者数(人)			253,853	244,365	257,989	260,000	265,000
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		0	17,810	97,136	5,700	合計	97,135,668 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,671,600 円	
		一般財源	0	17,810	97,136	5,700	使用料及び賃借料	69,930 円	
	職員人件費②		0	1,795	1,061	1,105	工事請負費	95,394,138 円	
	総事業費(①+②)		0	19,605	98,197	6,805			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		施設補修事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	商工業係	
7	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	産業振興センターの耐用年数を経過し老朽化した機器類等の補修を実施し、適正な管理運営を行い、利用者への安全性・利便性を確保する。			主たる内容	産業振興センターの施設・設備等の補修を行う。 ○完成年月日 平成7年10月28日 ○延床面積 10,472㎡			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	施設利用者・施設管理者			事業期間	~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
補修件数 26件		補修件数 6件		補修件数 11件		補修件数 3件予定			
成果 (できたこと)		年度当初計画していた補修すべて計画どおり完了し、利用者に迷惑をかけることなく利用いただくことができました。							
課題 (できなかったこと)		建設から18年目を迎え、補修計画を立てていた箇所とは異なる箇所が突発的に補修が必要となる状況が発生している。今後も毎年、施設管理者、保守管理者と現場確認しながら、数年先までを視野に入れ、補修必要箇所を洗い出し、年度計画を作成しながら対応していくことが求められる。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動 指標		利用者数(人)			253,853	244,365	257,989	260,000	265,000
指標									
他市との 比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		61,735	35,907	36,392	39,000	合計	36,392,307 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	需用費	36,392,307 円	
		一般財源	61,735	35,907	36,392	39,000			
	職員人件費 ②		1,450	1,077	1,061	1,105			
	総事業費(①+②)		63,185	36,984	37,453	40,105			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		備品等整備事業				担当部	経済環境部		
一般会計						担当課	商工課		
款	項					目	担当係	商工業係	
7	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	商工業						
		施策の内容	工業の振興						
	目的	あいおいホール、小ホール、事務室に設置されている監視カメラ及び映像設備が、耐用年数を経過したため老朽化し、交換部品の製造を中止したことにより補修不可能なため、カメラ等を購入し、適正な管理を図る。	主たる内容	産業振興センターの備品を購入する。 ○完成年月日 平成7年10月28日 ○延床面積 10,472㎡					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	施設利用者・施設管理者		事業期間	平成22年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		プロジェクター、アンプ、スクリーン、机、マイク購入		机、高所作業用リフト、プロジェクター、台車、司会者演台、モニター購入		机、椅子、衝立、ホワイトボード、ステージ台、案内板、電話台、台車、プロジェクター一台、演台購入		_____	
成果 (できたこと)		401会議室供用開始に向けた備品等を不足・遅滞なく購入することができた。							
課題 (できなかったこと)		建設から18年目を迎え、備品の老朽化や破損が増加し始めているため、備品の保守管理体制の確立、購入計画の立案が必要である。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		利用者数(人)		253,853	244,365	257,989	260,000	265,000	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		959	6,833	6,952	0	合計	6,952,023 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,905,960 円	
		一般財源	959	6,833	6,952	0	備品購入費	5,046,063 円	
	職員人件費 ②		145	144	424	0			
	総事業費(①+②)		1,104	6,977	7,376	0			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							